



「TTM+2013」バンコクで開催 ～400セラーと300バイヤーが商談～



タイ最大の旅行見本市「タイランド・トラベル・マート・プラス2013」(TTM+2013)が6月5日～7日の3日間、バンコク国際展示場(IMPACT)で開催された。ゴルフ、ヘルス&ウェルネス、ウエディング&ハネムーン、エコツーリズムの4テーマを掲げた「TTM+2013」には、タイを中心にミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナム、中国・雲南省のメコン河流域・地域から約380社が出展。南米や南アフリカ、東欧諸国などを含む世界約60カ国から約300人のバイヤーが参加して商談に臨んだ。

2013年は外国人旅行者 2400万人を見込む



TTM期間中に記者会見したタイ国政府観光庁(TAT)のヨーロッパ/アフリカ/中東/南北アメリカ担当のジュタポン・レーンロンナーサ副総裁は、12年にタイを訪れた外国人旅行者数が過去最高の2230万人を記録し、今年1月～4月も前年

を19.04%上回る884万1730人となるなど好調を維持していることから、「13年通年では2400万人の外国人旅行者を見込んでいる」とした。今年1月～4月の外国人旅行者のうち55%に相当する482万人を占めたのが東アジアおよびアセアン諸国からの旅行者で、伸び率も28.72%と極めて大きな増加となっている。なかでも昨年153万人に達した中国人旅行者は前年と比べ2倍近い急増ぶりであり、このほかの重要市場としてジュタポン副総裁からは「マレーシア、日本、韓国、ロシア、インド」の国名が挙げられた。

万人を超え、今年も1月～4月が約52万と好調な滑り出しとなっていることから、「13年は150万人を目標に掲げている」と説明した。今年の具体的な取り組みについては、ジュニアゴルファーの招待などを含む「ゴルフ市場の拡大努力」、「ロングステイの誘致強化」、「修学旅行の強化」、「タイらしさの情報発信の強化」を挙げている。このうち「タイらしさの情報発信の強化」に関しては、タイ料理とムエタイ(タイ式ボクシング)を取り上げ、積極的にプロモーションを行っていく方針を明らかにした。



日本人旅行者は 今年150万人を期待

日本のメディアを対象にフリージングを行ったTATアジア担当のサンスーン・ガオランシー副総裁は、12年の訪タイ日本人旅行者が130

JATAがフレンズ・オブ・タイランド賞を受賞

タイ国政府観光庁(TAT)が、タイ旅行産業の発展やイメージアップに貢献した団体及び個人を表彰する「Friends of Thailand Awards 2013(フレンズ・オブ・タイランド)」の受賞者に、日本旅行業協会(JATA)が選出され、TTM+2013のオープニングで行われた授賞式で、他の受賞者らと共に表彰を受けた。フレンズ・オブ・タイランドは、TATが1996年に開始した表彰制度で、隔年で開催しており今年が8回目。これまでに合計59カ国から510の受賞者が選ばれている。授賞式はこれまで年末に開催される「タイランド・ツーリズム・アワード」の一環として行われてきたが、今年からTTM+の期間中に表彰式を実施することになり、今回の「フレンズ・オブ・タイランド」は昨年末の授賞式予定をずらし、TTM+2013に合わせて開催した。第8回「フレンズ・オブ・タイランド」の受賞者は個人が7名(7カ国)、団体が3つ、旅行会社14社(9カ国)、メディア12社(12カ国)、航空会社2社(2カ国)の合計38団体・個人(24カ国)となった。JATAの受賞は、デジタル・ワールド・キャンペーン(VWC)を通じてタイへの送客拡大に積極的

に取り組み、TATの各種キャンペーンを強力に支援していることや、旅行会社のカウンタースタッフを対象とするタイ研修旅行を実施しタイ商品の販売を後押ししている点などが評価された。授賞式に参加したJATAの重田俊明・海外旅行推進部長は今回の受賞に関し「JATAがこの賞を受賞するのは初めだが、これは会員各社の実績が評価されたものであり、今後も会員各社がタイへ日本人を数多く送ることができるようJATAとしてサポートしていきたい。現在行っているカウンタースタッフ対象のタイ研修旅行の取り組みは2年目を迎えた。5月に規制緩和され販売しやすくなったチャーターも活用し、タイの販売をさらに拡大できるはずだ。JATAは2016年に海外旅行2000万人を目標に掲げており、タイは目標達成に重要な役割を果たす存在だ」とコメント。タイへの大きな期待を述べた。



女子旅の強化へ多面的な取り組み

研修旅行でファン作り “大人女子”向けガイドも

女性旅行需要の開拓は、タイ国政府観光庁(TAT)にとって今年度のマーケティング戦略の柱の一つ。多面的に女性層にアプローチし、さまざまな角度から女子旅の喚起に取り組んでいる。すでに昨年11月からは旅行業界の女性対象のタイ研修旅行を日本旅行業協会(JATA)と共同で実施している。すでに7回の研修旅行を終了。各回とも10名程度がタイの魅力を実体験してきており、旅行業界内における女性のタイ・ファン作りに向けた取り組みが進んでいる。研修旅行に参加した女性タイファンで作る女子会の設置も構想しており、同会員に対してはタイ関連セミナーのインフォメーションを送ったり、今後の研修旅行へ優先的に



参加できる特典の用意も検討している。TATではタイ語で「気持ちいい」「元気だ」「調子がいい」「大丈夫」といった意味がある“サバーイ”を前面に打ち出した「サバーイ・タイ



ランド」キャンペーンを実施している。タイの旅行市場は、政治情勢や大洪水の影響から脱し、旅行需要は順調に上向いており、文字通り“サバーイ”な状況だ。このため、もともとショッピングやヘルス&ウェルネス、グルメなど、女性が好む観光素材の競争力が強く、女性向きのホテルも豊富なタイへの注目度も高まっている。実際にTATにはテレビ番組やガイドブック、ウェブメディアなどによるタイ企画やタイ特集に関する問い合わせも増加。現地取材が進んでいる企画も少なくない。

日本での タイ関連イベントも大盛況

タイのインラック首相が5月に来日するなど、官民レベルの交流が活発化している。先日はタイ商務省も支援して、タイの米輸出業者と、タイ米で泡盛を造っている沖縄の酒造メーカーとの提携調印式も沖縄で行われた。旅行関連イベントも盛況で、毎年恒例のイベント「タイ・フェスティバル」が今年も5月に代々木公園で盛大に催された。今年で14回目を迎える同フェスティバルはタイ・ファンには見逃せないイベントとして定着。東京からやや遅れてスタートした大阪と名古屋のタイ・フェスティバルだが、大阪が第11回、名古屋が第9回と回を重ね、東京同様にすっかり定着してきている。6月29日・30日には金沢で北陸放送(MRO)主催の「MRO旅フェスタ」が開催される。昨年に続き第2回目となる同イベントには、TATもタイ国際航空名古屋支店と共同でブースを出展する。



参加者コメント

TAT・JATA タイ共同研修旅行 初めてのタイで文化的魅力に 圧倒されました

PTSTラベルナビ
店舗営業チーム第2グループ 西友浦安店
宇田川奈緒さん(入社6年目)

5月16日～20日の4泊5日でタイへ行ってきました。私にとって初めてのタイ旅行でしたが、自分の想像を超えたタイ文化の魅力に圧倒されました。タイはぜひとも再訪してみたいですし、帰国後はカウンターで接客するお客様に自信を持ってタイをお勧めしています。ワット・ポー、ワット・アラ

ト・プラ・ケーオなど有名観光スポットになっている寺院はもちろん素晴らしいのですが、とくにワット・アルンの建物や仏塔に施された精緻な装飾は私の想像を超えたものでした。また日帰り観光したアユタヤの遺跡群も、その迫力に圧倒されました。もちろんゾウを間近で見られたことも楽しい体験でした。ダムノン・サドゥアックの水上マーケットに行きましたが、タイらしい素朴なボートに乗り水路を移動すること自体も楽しかったですし、値切りながらの買い物も楽しい体験でした。



たとえば5月には“40代大人女子”のための旅行ガイド『開運タイごほうび旅行』(泉美咲月・著)が発売された。この年代の女性にとって大きな関心事である美容・健康・お金・愛情に焦点を合わせたタイ旅行ガイドで、バンコクのパワースポット情報や、心身ともにリラックスできるリゾート、お洒落なシティホテル、美容と健康を維持するためのスパ&クリニックや食などに関する情報を、40代女子の目線で厳選して掲載している。



東京事務所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館2F TEL.03-3218-0355
大阪事務所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-6-8 テクノープル四ツ橋ビル2F TEL.06-6543-6654/6655
福岡事務所 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラ6F TEL.092-725-8808
インターネット <http://www.thailandtravel.or.jp/> (日本語) <http://www.tourismthailand.org/> (英語)
Facebook [@tat_jp](http://www.facebook.com/thailandtravel.or.jp)
Twitter

